

2019年度 生涯学習講座一覧

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
1	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	○	頑丈で長持ちする建物のつくりかた	建物の中に居住している人間が、地震時であっても無事であるためには、建物が頑丈であり、この頑丈さが長続きしなくてはなりません。この講義では、頑丈で長持ちする建物のつくりかたについて学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
2	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	地域の災害特性を知ろう	災害から身を守るには、自然災害の知識だけでなく、地域の災害特性を知る必要があります。地域の災害特性は、ある程度地形から知ることができます。災害列島における暮らし方を考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
3	創造工学部	准教授	八重樫 理人	○	地域活性化のための情報技術活用について	八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダポス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」の開発を通して得た知見から、地域活性化のための情報技術活用について説明する。	高校生、一般など、応相談	随時	
4	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	大地の成り立ちから地域の強みと弱み考える讃岐ジオパーク構想	地域への愛着や誇りを持つには、大地の成り立ちから地域の歴史・文化や産業を再評価する必要があります。本セミナーでは魅力やお宝を大地の成り立ちから一緒に再発見する讃岐ジオパーク構想を紹介します。	一般成人、中高生	応相談	
5	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	長谷川教授と讃岐ジオサイト探訪	讃岐の里山は、ジオパークの素材となる魅力がいっぱい。本セミナーではNHKプラタモリ「さぬきうどん」と「こんびらさん」で案内人を務めた講師が、香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」で案内した里山をご案内します。	一般成人とご家族	土日限定、9-15時 (相談に応じます)	徒歩による里山歩きが可能な方
6	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	長谷川教授の案内でぶらりまち歩き	住んでいる地域の魅力やお宝は土地の成り立ちと密接に関係しています。本セミナーではNHKプラタモリ「さぬきうどん」と「こんびらさん」で案内人を務めた講師が、御依頼のまちを巡ります。	一般成人とご家族	土日限定 (9:00-12:00、半日程度)	徒歩による坂道や階段の散策が可能な方
7	創造工学部	教授	吉田 秀典	○	土壌汚染や汚染水の浄化について	汚染されてしまった土壌や水の浄化手法の説明を通して、環境保護の重要性和悪化した環境の修復の重要性を学んで頂くのと同時に、環境保全や環境修復には、科学的な手法が重要であることを理解して頂く。	中学生以上	応相談	
8	創造工学部	教授	吉田 秀典	○	汚染土壌や汚染水の浄化について	汚染されてしまった土壌や水の浄化手法として、香川大学で開発した高機能吸着剤と、浄化システムについて技術的な相談を受け付ける汚染されてしまった土壌や水の浄化手法として、香川大学で開発した高機能吸着剤と、浄化システムについて技術的な相談を受け付ける。	左記に関わる技術者	応相談	
9	創造工学部	教授	松島 学	○	家を建てるときに考えること	住宅を建てる特にどのように考えるのかを話をします。玄関、居間、食堂などはどのようにして考えればいいのかなどの話から、周りとの景観等の関係までを話します。	応相談	一般	
10	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	○	コンクリート工学	コンクリート工学に即した内容			
11	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	地域の災害特性を知ろう	地域を災害特性を知ること、防災のための第一歩です。本セミナーでは、地形図やハザードマップを使って、お住まいの地域の災害特性を一緒に考えます。	応相談	一般成人	

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
12	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	讃岐ジオパーク構想—大地の成り立ちから地域の強みと弱み考える—	地域への愛着や誇りを持つには、大地の成り立ちから地域の歴史・文化や産業を再評価する必要があります。本セミナーでは魅力やお宝を大地の成り立ちから一緒に再発見する讃岐ジオパーク構想を紹介します。	応相談	一般成人	
13	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	讃岐ジオサイト探訪	住んでいる地域の魅力やお宝は土地の成り立ちと密接に関係しています。本セミナーではNHKプラタモリでの案内人を務めた講師がプラタモリの視点で、御依頼のまちを巡ります。	土日限定(相談に応じます)	一般成人とご家族	
14	創造工学部	助教	米谷 雄介	○	「親子で楽しいプログラミング - スクラッチを用いたゲームづくり体験 -」	PC、タブレットあるいはスマートフォンと、ビジュアルプログラミング言語のスクラッチを用いて、簡単なゲームづくりを通して親子でプログラミングの楽しさを体験します。	プログラミングに興味がある小学校3年生～6年生までの児童およびその保護者	後期(可能ならH30年12月以降)	・児童1～2名に対し、保護者1名の同伴をお願いします。 ・スクラッチでプログラミングを実行するためには、PC、タブレットあるいはスマートフォンが必要となります。 ※ サテライトの学習支援環境が不明なのですが、もしも受講者に対してPCやタブレットの貸し出しが可能であれば、それを受講者に使ってもらい統一環境で行いたいと考えています。 そうした環境提供が難しいようであれば、タブレットまたはスマートフォンを受講者必携としたいと思います。実際のところスクラッチのタブレット・スマホでの動作対応が2018年の第一四半期(4月～6月)と報じられており、インターフェースによってはどちらに統一するかなど不確定な部分がございます。 それによってインストールしていただくものなど、事前のインストラクションが変更になる可能性がございますので、本案が仮に採用となった場合に、掲載時期や掲載内容について今後ご相談をお願いできれば幸いです。
15	医学部	教授	三木崇範	○	養育環境が子供の脳発達に及ぼす影響	当研究室の研究データを踏まえ、母子分離に焦点をあてて幼少期の養育環境の重要性を説く。	高校生、大学生、一般	応相談	
16	医学部	准教授	鈴木 辰吾	○	〃	〃	〃	〃	
17	医学部	助教	太田 健一	○	〃	〃	〃	〃	
18	医学部	教授	三木崇範	○	アルコールが脳に与える影響	妊婦が摂取するアルコール(飲酒)により子供に精神神経発達遅滞をはじめ様々な影響をもたらす。これを胎児性アルコール症候群と称している。研究結果をもとに脳の発達に及ぼす影響について概説する。	高校生、大学生、一般	応相談	
19	医学部	准教授	鈴木 辰吾	○	〃	〃	〃	〃	
20	医学部	助教	太田 健一	○	〃	〃	〃	〃	

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
21	医学部	教授	平野勝也	○	生理学者と学ぶからだの不思議と仕組み	3名の教員により、心臓、呼吸、代謝など人体生理学に関する基礎知識を講義する。健康を考える上で生理学の重要性について理解を深める。	中高生、一般	中高生の夏休み期間中	
22	医学部	助教	山下哲生	○	"	"	"	"	
23	医学部	助教	橋本剛	○	"	"	"	"	
24	医学部	教授	平野勝也	○	生理学者と学ぶ細胞の不思議と仕組み	細胞生物学の視点から人体のはたらきとその仕組みに関する基礎知識を講義する。健康を考える上で生理学の重要性について理解を深める。	高校生、一般		
25	医学部	助教	山下哲生	○	"	"	"		
26	医学部	助教	橋本剛	○	"	"	"		
27	医学部	教授	西山 成	○	生活習慣病に対する新薬開発の紹介	生活習慣の変化によって生じる肥満、糖尿病、高脂血症に伴う脳心血管・腎臓病や癌などの最新の治療法開発を紹介する	高校生以上	平成30年度は予定なし	
28	医学部	教授	和田健司	○	暮らしを支える化学	我々の社会と生活に無くてはならないエネルギーや各種製品、環境の保持には、化学が深くかかわっている。こうした化学について、実例を挙げて判り易く解説する	高校生、一般	要相談	要相談
29	医学部	助教	小川 崇	○	ホルモンの話	ホルモンの一般的な性質と病気との関わりを解説する。ホルモンの化学的な構造や特徴と人体における役割、ホルモンの関わる各種疾患について紹介したい。	一般の市民	10月-12月(平成30年度は予定なし)	50人程度の参加者
30	医学部	教授	中村隆範	○	"	"	"	"	"
31	医学部	助教	野中 康宏	○	"	"	"	"	"
32	医学部	准教授	横平 政直	○	なぜ、人はがんになるのか(がん細胞発生のメカニズム)	正常細胞からがん細胞が発生するまで、遺伝子レベルでの変化に着目し解説します。また、そのような遺伝子変化を起こす要因やその予防についての話も盛り込みます。	小学生から一般の方まで、対象者に合わせて講演内容を調整します。	応相談	
33	医学部	助教	橋本 希	○	早期発見の重要性	日本の検診受診率は未だ欧米に比べて受診率が伸び悩んでいる。癌は早期発見早期治療で治癒できる時代となっており、検診受診による早期発見の重要性を内容とする。	一般	平成30年度は予定なし	
34	医学部	助教	田中健	○	顧みられない熱帯病ー主に原虫病についてー	熱帯地域の貧困層に蔓延している寄生虫症のうち、原虫によって引き起こされるマラリア、アフリカ睡眠病、シャーガス病などについて、その現状と対策を紹介する。	中学校、高校生、一般	平成30年度は開講しない	公共交通機関を利用できる場所に限る

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
35	医学部	助教	神田 かなえ	○	明日が変わる子育て講座-トリプルP前向き子育てプログラム-	子育て技術の向上と子どもの問題行動および親のストレスを減少させることを目的に、保護者等が前向きに子育てを行えるための理論と技術を実践的に紹介します。	子育て中の保護者および子どもの養育に関わるすべての人々、小学校、幼稚園、保育園および企業等	平成30年度は予定なし	
36	医学部	教授	平尾智広	○	災害と健康管理	南海トラフ巨大地震などの災害発生時に必要となる健康管理の知識を紹介します。個人や家族、社員を守るために、避難所へ避難してきた人を守るために必須の事項です。	どなたでも可能	日程調整が必要	
37	医学部	教授	平尾智広	○	人にやさしい働き方	労働災害、過重労働、過労死から、かけがえのない人を守り、ワークライフバランスを実現し、健康で豊かな社会を実現するために、ともに考えましょう。	どなたでも可能	日程調整が必要	
38	医学部	講師	祖父江 理	○	慢性腎臓病について	国民病慢性腎臓病についての講演です。市民向けです。	一般	応相談	
39	医学部	准教授【寄附講座】循環器・腎臓疾患地域医療学講座	西島 陽子	○	〃	〃	〃	〃	
40	医学部	助教	守時 政弘	○	〃	〃	〃	〃	
41	医学部	講師	祖父江 理	○	臓器提供・臓器移植について	臓器提供に関する啓発です。	主に中高生	要相談	祖父江のみ
42	医学部	准教授【寄附講座】地域連携精神医学	安藤延男	○	うつ病とは	うつ病に関する理解を深めることができるようにわかりやすくその疾病概念などを説明する。	一般(青年、壮年、高年)	平成30年度は予定なし	なし
43	医学部	准教授	角 徳文	○	精神疾患、認知症など	その病気の特徴、症状、診断や治療など	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)	スケジュールに合えば随時	
44	医学部	助教	今井秀記	○	サラリーマンのうつ病について	サラリーマンの体調不良は、一見うつ病には見えないことがあるが、軽症うつ病であることがある。その特徴について。	サラリーマン	特に制約はない。	30分程度
45	医学部	助教	篠原 朝美	○	メンタルヘルス	ストレスについて理解を深め、自分でできるメンタルヘルス対策についてお伝えする。	一般 高校生	平成30年度は予定なし	
46	医学部	助教	木戸瑞江	○	児童精神・発達・不登校	乳幼児期。それ以降の精神発達また、小中学校に多い不登校、精神疾患や発達障害について	特に限定なし	平成30年度は予定なし	
47	医学部	助教	眞鍋貴子	○	うつ病について	ストレス状況で重いうつ状態や長期間のうつ状態を生じないための方法など	市民、就労者など	平成30年度は予定なし	
48	医学部	准教授	下野隆一	○	子供の腹痛、外傷	小児の急性腹症、異物誤嚥、誤飲	一般	通年	スライド上映

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
49	医学部	准教授	紺谷 桂一	○	乳がんなんかには罹らない、負けない！	乳がん患者数は年々増加しており日本女性11人に1人が乳がん に罹っている。しかし乳がんは比較のおとなしく治療も効きやす い。したがって早期発見・治療が最も重要である。乳がん予防と 診断治療の現状について講演する	一般	現在「イキイキさめき健 康塾」開講中 年1回程 度なら可能	日程は遅くとも3ヶ月前には知らせてほ しい
50	医学部	准教授	白神千恵子	○	加齢黄斑変性	疾患説明と治療	中高齢者	8月	
51	医学部	教授	白神 豪太郎	○	麻酔科学, 周術期医学, 集中治療医学, 痛み医学, 緩和 医学に関するテーマ	手術の麻酔, 手術による痛みの緩和, 重症患者のケア, 慢性痛, 癌性痛など			
52	医学部	准教授	中條 浩介	○	〃	〃			
53	医学部	講師	浅賀 健彦	○	〃	〃			
54	医学部	講師	山上 有紀	○	〃	〃			
55	医学部	助教	別宮 小由理	○	〃	〃			
56	医学部	助教	澤登 慶治	○	〃	〃			
57	医学部	助教	築瀬 賢	○	〃	〃			
58	医学部	助教	奥山 浩之	○	膵がんについて、膵消化管神経内分泌腫瘍について	膵がんについて、膵消化管神経内分泌腫瘍について	一般	要相談(平成30年度は予 定なし)	
59	医学部	教授	辻 晃仁	○	がん治療の夜明けー新しいくすりの導入ー	くすりの治療やゲノム(遺伝子)診療の進歩は目覚しく、がん治療 は大きく変貌しました。最新のがん治療につきお話します。	一般	要相談	
60	医学部	准教授	筒井邦彦	○	検診、特に消化器領域の検診結果をどう活かすか	実施するとしたら、ですが 消化器領域の検診結果の理解と、その後どうしたらいいかについ て	生活習慣病検診、職場 検診を受けられる方?	平成30年度は予定なし	
61	医学部	教授	前川泰子	○	やさしい身体の動かし方	自力で動けない人の身体を動かす際、人の本来の自然な動きを 知ること、負担を少しでも軽減することができる。その基本的な 動きを説明する。	小学校、中学校、高校 生、一般(青年、壮年、 高年)	後期	座位、臥位など身体を動かせるスペー ス
62	医学部	教授	清水 裕子	○	カンボジア国における学校保健教育を通して国際支援の あり方を考える	2017年3月から香川大学が香川県、JICA、カンボジア教育青年 スポーツ省と連携してカンダール州における学校保健支援事業 を実施している。35年ほど前に内戦を経験したカンボジアが未だ 直面している教育課題への、国際的な相互支援のあり方をおし、 平和を考える。	小学校、中学校、高校 生、一般(青年、壮年、 高年)、企業、教育関係 者	年間	プロジェクション環境
63	医学部	教授	大森美津子	○	老いと病に向き合う	老いとどのようになるのか。老いることで向き合う人生の課題 は何か。老いの意味を考え、老いを活かした生き方を考える。病 の意味を考え、病を活かして生きることを考える。	高齢者と家族 高校生	前期	話し合える人数

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
64	医学部	教授	大森美津子	○	認知症の家族と生きる時に直面すること	認知症の家族を介護するときに直面している課題は、介護に伴う身体的な大変さに加えて、家族の抱える人生の課題を共に生きることにある。介護する意味を考える。	高齢者と家族	前期	話し合える人数
65	医学部	准教授	石上悦子	○	アロマで癒す こととからだ	日本の医学は西洋医学が主流ですが、アロマセラピー、鍼灸、整体、カイロ、気功、按摩、ホメオパシー、漢方医学等、多くの代替療法があり、また多くの人がそれを採用しています。今回は、アロマセラピーを安全に日常に取り入れ、より健康な生活を送る方法を提案します。	一般	平成30年は予定なし	
66	医学部	教授	松井妙子	○	高齢者の在宅ケアを考える	高齢者の在宅療養を支援する制度、在宅療養時に必要な医療的ケアの知識と技術など	一般(壮年、高年)	5月から9月	
67	医学部	非常勤職員(TA)	沖 亜沙美	○	認知症高齢者への対応について	認知症高齢者への対応を、看護の視点からわかりやすく解説 実技演習も交えて、日々の生活実践に活かす	高校生から一般の青年、壮年対象	平成30年度は5月～9月	
68	医学部	教授	渡邊 久美	○	介護・福祉職向けの在宅ケアにおける認知症アセスメントについて	認知症の症状を在宅ケアの援助職間で情報共有することで、介護と医療の連携を円滑に進め、より良いケアに繋げるための情報収集や観察ポイントについて考えていきます。	公共団体・企業等		
69	医学部	教授	岡田 宏基	○	医学的に説明困難な症状への対応	いわゆる「不定愁訴」と呼ばれていた症状の解明が少しずつなされてきている。 諸外国での研究内容や、香川県での頻度調査を元に、対応の仕方について講義する。	一般市民	平成30年度は予定なし	
70	医学部	講師	村上 和司	○	虚血性心疾患とカテーテル治療について	虚血性心疾患とカテーテル治療について説明します(一般向け)	一般	応相談	
71	医学部	教授【寄附講座】循環器・腎臓疾患地域医療学講座	辻 哲平	○	心肺蘇生とAED	心肺蘇生法とAEDの使用方法について説明します	1)小学生・中学生・高校生・大学生 2)教員・管理者 3)一般 4)企業	応相談	
72	医学部	教授	南野 哲男	○	循環器一般	循環器疾患について説明します	一般	応相談	
73	医学部	准教授	野間 貴久	○	心疾患の健康管理	心疾患の健康管理について1)一般 2)教員・管理者 向けに説明します	1)一般 2)教員・管理者	応相談	
74	医学部	教授	柴田 徹	○	①よく分かるがんの基礎知識 ②放射線治療について	① 1)肺がん、2)前立腺がん、3)乳がん、4)咽頭・喉頭がん、5)子宮がん、および6)がん全般について、ご要望に合わせて基礎知識から最先端治療まで分かりやすく解説します。② 切らずにがんを治せる放射線治療の最新情報について説明します。	一般成人、一般県民、各種団体、企業等	応相談	
75	医学部	教授	柴田 徹	○	”	”	”	”	

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
76	医学部	助教	高橋 重雄	○	〃	〃	〃	〃	
77	医学部	助教	森下 朝洋	○	非アルコール性脂肪性肝疾患の診断と治療	非アルコール性脂肪性肝疾患の診断と治療について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
78	医学部	助教	鎌田 英紀	○	胆・膵内視鏡治療、膵がんの診断	胆・膵内視鏡治療、膵がんの診断について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
79	医学部	助教	加藤 清仁	○	胆道、膵臓の疾患と治療について	胆道、膵臓の代表的疾患における診断、治療の最新知見について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
80	医学部	准教授	宮武 伸行	○	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1)メタボのはなし、2)糖尿病のはなし、3)熱中症のはなし、4)高齢者の健康のはなし、5)運動のはなし、6)食事のはなし、7)こころのはなし、8)尿検査、便検査のはなし、9)たばこのはなし、10)健康診断のはなし、11)高血圧と生活習慣のはなし、12)がん予防のはなし、13)食中毒のはなし、14)ジュースのはなし、15)うんこのはなし、16)すいみんのはなし	1)～13)は中学生以上、14)～16)は小学生対象	応相談	運動実技のある場合があります。社会人大学院生等の参加の場合もあり。小学生は20分程度から柔軟に対応します。
81	医学部	特命助教	鈴木 裕美	○	明日が変わる子育て講座	前向き子育てプログラム(Positive Parenting Program:トリプルP)をもとに、良好な親子関係の築き方、有効なしつけの仕方、やり抜く力などの非認知能力の伸ばし方を学習します。ビデオをみて自分の子育てを振り返り、ロールプレイや話し合いをしながら、子どもへの具体的な接し方を参加型学習で学びます。	保護者、祖父母、育児に関わる教育・行政の方	応相談	
82	医学部	教授	林 智一	○	カウンセリングの基礎—よりよい聴き手となるために—	マイクロカウンセリングをもとにしたカウンセリング技法と、カウンセリングの基礎理論について、わかりやすく講義する。研修時間によっては、技法論のみでも可。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
83	医学部	教授	林 智一	○	老いのこころを知る—高齢者の心理学—	高齢者の心理的特徴や心理的問題について、わかりやすく講義する。要望があれば、認知症に対する心理療法的アプローチについても紹介する。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
84	医学部	教授	林 智一	○	職場におけるチームアプローチ—実習を中心に—	チームのメンバーが、民主的で対等な関係の中で協働するためにならなければならない。実習の後、ミニレクチャーを行う。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	3時間の研修とする。それより短時間では実施不能。
85	医学部	教授	林 智一	○	高齢者に対するカウンセリングの実際—ライブレビューを中心に—	高齢者に対するカウンセリングにおいて特に有用であると思われる、ライブレビューという方法を紹介する。	心理臨床および福祉・医療の専門職、高齢者介護に携わる家族など、実践に関わる人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
86	医学部	教授	林 智一	○	青年期のこころを知る—青年心理学の基礎—	青年心理学の知見をわかりやすく講義する。また、青年のこころの世界がよく反映されていると思われる歌詞を紹介して、解説する。	一般、教育関係者	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	会場に、CDを再生できる設備があること。
87	教育学部	准教授	吉川暢子	○	子どもの豊かな表現を育む遊び	子どもは遊びの中からたくさんを学んでいます。しかし、子どもに「〇〇させる」という行為を大人や教師が押し付けていないでしょうか？そこで、子どもが自ら「やりたい」と思う遊びや子どもの表現について考えます。	保育者、幼児の親、親子		講義スタイルではなく実技や演習を伴うワークショップ形式

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
88	教育学部	准教授	宮前淳子	○	教育臨床における行動療法の適用	教育臨床において行動療法をどのように適用することができるかについて検討する	一般、教育関係		
89	教育学部	教授	古草敦史	○	絵画制作を楽しむ	鉛筆画、木炭画、水彩画、イラスト画の作品制作。モチーフを観察して描く具象的作品、またはイメージによる抽象的作品の制作を行う。	高校生、一般	秋(11月～12月頃)	制作に必要な画材、モチーフの用意を大学として必要
90	教育学部	教授	高橋尚志	○	科学することの喜び	科学実験とお話により、科学することの意味を考えます。	小学校、中学校、高校生、一般	応相談	
91	教育学部	教授	高橋尚志	○	表面の科学	物質の表面に光をあてて電子を見る科学 表面物性を実験で見える方法を解説し、生活の中でどう結びつくのかお話しします	中学校、高校生、一般	応相談	
92	教育学部	教授	高木由美子	○	イオン液体の話	環境に優しい材料研究の大切さや、化学の面白さについてイオン液体を材料に概説する。	行事内容・対象に合わせる	公務に支障のない時期	
93	教育学部	教授	佐藤明宏	○	国語の授業のつくりかた	小、中、高等学校の国語科教員を対象に、国語の授業の教材研究の仕方、教材開発の仕方、学習指導案の書き方、具体的な発問、板書、ノート指導の方法等について講義したり、国語科授業づくりのアドバイスをします。	小、中、高等学校の国語科教員	いつでもよい	
94	教育学部	教授	山下直子	○	日本語教育入門	日本語を母語としない人が、どのように日本語を学ぶのかについて考えます。	関心のある方	応相談	
95	教育学部	教授	時岡晴美	○	少子高齢社会における生活経営と地域居住	少子高齢化がますます進展する現代社会において、主体的に家庭や地域における生活を営んでいく重要性をふまえ、現代における生活の変容過程について学習することによって生活の将来像を構想する力を養うものとしたい。	一般		
96	教育学部	教授	小西憲一	○	篆刻入門	石印材を使用して、姓名印などを制作する。	一般		用具用材が必要
97	教育学部	准教授	松本博雄	○	のぞいてみよう 子どもの世界—子どもも大人も幸せな子育て	発達心理学的視点から見た子どもの世界を乳幼児から学童期にかけて探り、子育てを楽しむヒントと、これからの社会のあり方を考える	乳幼児期から学童期の子育て中の一般市民等		
98	教育学部	教授	植田和也	○	心の教育、子どもへのかかわり、	子どもの心の教育について、道徳や家庭教育を通して具体的に考える。また、子どもへの関わりについて、学校教育と家庭教育の役割等について考える。	一般	応相談	
99	教育学部	教授	北林雅洋	○	現存する砂糖車の車石から見てくること	砂糖車はサトウキビから汁を絞る機械。絞るローラーの部分を木製から石製に変えたのが久米通賢(1780-1841)。そこで使われた石製のローラー(車石)がいろいろな所に残っている。香川県内だけでなく熊本や沖縄などにも。	一般		
100	教育学部	教授	山神 眞一	○	心とからだの健康づくり	人と人とのコミュニケーション遊びを通して、笑顔で生き生きと過ごせる健康づくりを実技を交えて行います。	中高年層	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
101	教育学部	教授	野崎武司	○	スロージョギングで楽しく健康づくり	スロージョギングの実施方法とその効用を伝える。できれば実技を含めて。(野崎は、日本スロージョギング協会の公認アドバンス・インストラクターである)	一般	日程調整ができ次第	運動できる服装(実技の場合)
102	教育学部	教授	柳澤良明	○	学校教育の国際比較－日独比較を中心に－	日本の学校教育と諸外国(おもにドイツ)の学校教育をさまざまな観点から比較することで、日本の学校教育が持っている優れた点や今後改善すべき点について考える。	高校生、一般(青年、壮年、老年)、教員、等	とくに制限なし。	柳澤からの情報提供の後に、参加者との質疑応答や意見交換ができればと思います。
103	教育学部	教授	柳澤良明	○	<組織としての学校>についての対話	「組織としての学校」に関する各種の文献やデータを素材として参加者が自由に対話することをおして、学校組織が抱える課題とその改善策についてともに考える。	高校生、一般(青年、壮年、老年)、教員、等	とくに制限なし。	参加者には積極的に発言する姿勢とともに、他者の意見をしっかりと聞く姿勢が求められます。
104	経済学部	教授・学部長	佐藤忍	○	公的年金と暮らし	電卓を活用して年金額の簡単な計算方法を学習し、公的年金への見方・考え方を身につける。	一般市民		
105	経済学部	准教授	山本 裕	○	日露戦争と香川・四国	近代日本における最初の「総力戦」とも見られる日露戦争について、当時の香川・四国の青壮年の「経験」について、政策史・地域誌にも留意しながら考えます。	高校生・一般(青年、壮年、老年)	夏休み・春休み以外	
106	経済学部	教授	沖 公祐	○	資本主義の仕組み	資本主義は、歴史上のある時点にある場所で成立した特殊な経済システムである。この特殊歴史的な経済システムとしての資本主義がどのようにして成り立っているのか、をできるだけ分かりやすく説明する。	高校生、一般	いつでも可	
107	経済学部	准教授	金澤忠信	○	フランス語あるいはフランスの文化について	簡単なフランス語を読みながら、フランスの文化について語る。受講者の興味関心やレベルに応じてテキストを選び、解説する。	一般(どの年代の方でも可)	前期あるいは後期の授業期間で、空いている時間帯	フランス語を学んだことがある、あるいはフランスの文化に興味がある
108	経済学部	教授	大野拓行	○	Excelによる統計データ分析入門	統計データ分析を体験してみたい方、Excelのスキルを少し上達させたい方向けの講座です。	一般	応相談	基本的なExcelの操作ができる方
109	経済学部	教授	姚峰	○	国際観光客地域選択の社会経済要因分析	応相談	一般成人 高校生		
110	経済学部	教授	姚峰	○	ノーベル経済学賞と時系列関係の因果分析	応相談	一般成人 高校生		
111	経済学部	准教授	川端美都子	○	世界音楽への招待	世界に存在するさまざまな音楽文化・現象を学びながら、異なる社会における音楽、経済、政治との関係を、民族音楽学的に分析しながら、考えていきます。	一般		
112	経済学部	准教授	藤原敦志	○	金融政策と日本経済	アベノミクスの「三本の矢」の1つとして採用された「大胆な金融緩和」について説明する。その政策の理論的な根拠や、実際の効果、副作用の有無などについて検討する。	高校生、一般	いつでもよい	
113	経済学部	教授	持田めぐみ	○	私たちの暮らしと「経済学」	私たちの暮らしに関係するテーマについて、「経済学」の視点から解説します。	一般	応相談	マイクとパワーポイントを使用しますので、設営準備をお願いします。
114	経済学部	教授	水野 康一	○	映画・ドラマの英語	洋画や海外テレビドラマの映像や台本を利用して、使用されている英語、特に日常表現について学びます。セリフの微妙なニュアンスを理解することで、作品をより楽しめるようになります。	一般	応相談	一講座(作品)につき、10時間(2時間×5回)程度を予定

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
115	経済学部	教授	園部裕子	○	フランスの女性移住者による市民団体活動	フランスに在住する西アフリカ出身女性が、受入社会と出身社会の間でコミュニケーション促進のために行う、市民団体活動について、現地調査から解説する。	一般	応相談	
116	地域マネジメント 研究科	教授	岩本直	○	これからの高齢化社会を生き抜く方法を考える —高齢化社会の課題を知り、自分自身の対応方針を立てよう—	①これからの高齢化社会に発生する課題をまとめます(介護、税収不足、労働不足等) ②①で示した課題に対する自分自身でできること、自分が社会にできることを提示します。 ③なお、本講義では健康、年金といったような個人に関するものは取り扱いません。本講義では高齢化社会到来に係る地域の課題をまず理解し、これらの地域課題に対する自分自身の対応方針等について考えていく内容となっています。	高齢者、一般社会人、高校生、大学生、主婦、企業経営者、行政及び商工会議所・商工会職員等	応相談	
117	法学部	教授	青木 丈	○	消費税の軽減税率制度の仕組みと問題点	2019年10月の消費税率引上げ(8%→10%)と併せて導入される予定の“軽減税率制度”の仕組みを解説し、その問題点を考えます。	一般	応相談	
118	法学部	教授	青木 丈	○	マイナンバー制度の仕組みと今後の展望	2016年1月から始まっているマイナンバー制度の現在の仕組みを解説し、その問題点や今後の展望を考えます。	一般	応相談	
119	法学部	教授	金 宗郁	○	地方議会の現状と課題	地方議会の機能と現状を踏まえながらその課題について検討する。	一般	応相談	
120	法学部	教授	金 宗郁	○	住民参加の現状と課題	自治体における住民参加の現状と課題について検討する。			
121	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	個人情報と法	個人情報保護に関する法制度を素材として、現代社会における個人情報の意義とその保護の必要性や保護の仕組み等を、具体的事例を用いながら解説する。	一般(社会人、企業法務関係者、自治体職員等)	公務に支障がない範囲で随時	
122	法学部	教授	柴田潤子	○	独占禁止法入門	価格カルテル、入札談合、下請法、優越的地位の濫用、再販売価格維持行為という独占禁止法の中心的な問題について解説する。	出前講義(高校生)、研修、生涯学習講座が可能		
123	法学部	教授	石井一也	○	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。しかし、それでは、人類に限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
124	法学部	教授	石井一也	○	ガンディーの非暴力思想	2018年は、ガンディーの死後70年にあたる年です。グローバル社会が、暴力の様相をますます強めてゆくなかで、ガンディーによる非暴力の思想と実践について考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
125	法学部	准教授	吉井 匡	○	犯罪捜査と刑事裁判	犯罪捜査や刑事裁判、裁判員制度などの現状について、対象者の関心に応じて講義する。	中学生以上一般まで	応相談	個人が抱える刑事事件・トラブルに関する質問には応じられません。
126	法学部	教授	前原 信夫	○	会社の経営をめぐる法的問題について	会社の経営をめぐる諸問題について、近時の会社法改正や会社に関する様々なデータ・資料を参考に、法制度上の視点から考えていきます。	関心のある方	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
127	法学部	教授	金子 太郎	○	政治、経済、国際政治、哲学など	生徒に知りたいことを話してもらって講義する	中・高(小もいいですが)	大学の講義やゼミがない日ならいつでも。後期は水曜(ただし会議の無い日)と木曜	
128	法学部	教授	平野 美紀	○	現代の犯罪と犯罪被害者支援制度	現代社会における犯罪や犯罪者の処遇、犯罪被害者支援制度を通して、社会の一面を考える。	関心のある方	応相談	
129	法学部	教授	平野 美紀	○	死をめぐる自己決定と法的諸問題	死をめぐる自己決定(尊厳死や安楽死)などを通して、医療における患者の意思のあり方、それらにかかわる法律問題を考える。	関心のある方	応相談	
130	法学部	准教授	春日川路子	○	民事の争いと民事訴訟—民事手続法入門—	一般の人間での争いを取り扱う、民事裁判手続の概要を紹介する。刑事手続との違いやどのような争いが民事の対象になるのかを学問的観点から解説する。	中学校、高校生、一般	要相談(講演の2か月前までにご連絡ください)	民事訴訟手続を学問として紹介します。個別の事案についての法的なアドバイスは行いません。法律相談を希望される方には適さない講演であることを明記してください。
131	法学部	教授	肥塚肇雄	○	あなどれない自転車事故—備えるべきは保険—	交通安全の重要性はもちろんのこと、自転車事故による被害者と加害者の法律関係と、保険加入の大切さについて考えます。	上記テーマに関心がある方、特に中学生、高校生	応相談	
132	法学部	教授	肥塚肇雄	○	自動運転事故は誰の責任?	ドライバーが存在しない自動運転による事故が発生した場合、誰が責任を負うのか、被害者はどのようにして救済されるのか等について考えます	自動運転と法に関心がある方	応相談	
133	法学部	教授	肥塚肇雄	○	ビッグデータ、個人情報保護、そして、変貌する保険	さまざまな情報が吸い上げられビッグデータ化されています。個人情報を守れるでしょうか? 今後さらに、リストウォッチからも健康情報が収集されていくと、生命保険等はどのようなのでしょうか? 这样的问题について考えます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
134	法学部	教授	肥塚肇雄	○	知って得する生命保険の基礎知識	生命保険契約の基本的なルールは何か、どのような種類があるか等、知っているようで知らなかったりする生命保険の基礎知識を学びます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
135	法学部	准教授	辻上佳輝	○	民法全体	遺言について 不動産について など 詳細は相談ください	誰でも	講義にかかからない範囲で	
136	農学部	教授	合谷祥一	○	高齢者の食事	高齢者、特に嚥下が不自由になった方の食事について、わかりやすく解説します。	一般		
137	農学部	教授	佐藤正資	○	農業のはなし—食の安全・安心の理解のために	農業は私達の豊かな生活を担う重要な物質です。本セミナーでは「食の安全・安心」を理解するために役立つ農業の話題についてお話しします。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)		
138	農学部	准教授	山口一岩	○	生物生産を支える瀬戸内海環境	瀬戸内海が漁業生産上豊穡な海となる仕組みの一端を、物質循環の視点に基づき紹介する。栄養塩と植物プランクトンに焦点を充てて、話を展開する。	一般(青年)	年度末は避けていただきます。	パワーポイントの投影設備をお願いします
139	農学部	教授	山田佳裕	○	香川の水環境、農業と水、水辺の生物 等	水資源に乏しい香川県の水環境は、他の地域と違った特徴を持っています。水域の生態系や水質を解説するとともに、農業と水の関係について考えます。	特に制限無	随時	プロジェクター
140	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	鶏肉や鶏卵生産の裏側には、農家・研究者・行政獣医師の皆さんの工夫や苦労のおかげである。「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」を知り、現状をお伝えするとともに最新研究を紹介する。	小学校、中学校	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
141	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	素材の組み合わせにより吸血ダニを捕殺する技術を開発し、薬剤に頼らず被害低減できた。生物多様性に配慮しつつ、国際的な捕獲調査が可能となった。全世界で活躍する畜産・獣医教育での活用事例を紹介する。	高校生	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
142	農学部	教授	深井誠一	○	ヒトはなぜ花を愛でるのか	私たちの暮らしの中で花や緑が必要とされるのはなぜなのか、ヒトという生物からその意味を考えます。	一般、園芸業界	特に指定はありません	急な申し出には対応できないことがあります。
143	農学部	教授	深井誠一	○	どうして花は咲くのだろう	私たちの馴染みの深い花たちが季節ごとに咲く仕組みを優しく解説します。	高校生、一般	特に指定はありません	急なお申し出には対応できないことがあります。
144	農学部	准教授	杉田左江子	○	お米の起原、品種改良について	私たちの主食であるお米がどのようにして作物として利用されるようになったのか、また、お米の品種改良の方法について紹介します。	高校生、一般	応相談	
145	農学部	教授	川村 理	○	食の安全(食品添加物、残留農薬、放射性物質、カビ毒、食中毒、身の回りの毒など)	食の安全を脅かす事柄が多く報道されていますが、必ずしも科学的に正しい情報とは限りません。科学的に正しい食の安全についてわかりやすく講義します。	高校生以上、一般の方	随時可能。日時や講演内容・時間については事前にご相談下さい。	液晶プロジェクターとスクリーンが必要
146	農学部	教授	川浪康弘	○	植物が持っている香りの話	植物はそれぞれ特有の芳香を持っているが、昆虫を引き寄せ受粉を託したり、逆に害虫を寄せ付けないよう植物を守るために香りを産出すると考えられている。これらの香り成分について、分かりやすく説明する	中学生、高校生、一般	要相談	
147	農学部	教授	田淵 光昭	○	微生物とヒトとの関わり-発酵食品、病気、バイオテクノロジー-	講演では、微生物の基礎、応用、微生物による病気そして最新のバイオテクノロジー(ゲノム編集)に至るまで幅広く人類と微生物との関わりについてお話したい。	中学生、高校生、一般	応相談	
148	農学部	准教授	小林剛	○	香川県の森林の特徴と植物の生態	香川県の森林の現状と諸問題、里山に生育する植物の生活、竹林の拡大の影響とその対策、ほか	小学生～一般;企業(対象者により内容を調整します)	主として大学の通常カリキュラムの講義実施期間・時間外	
149	農学部	教授	市村和也	○	おもしろ植物サイエンス実験	本講座では植物から色素を取り出したり、顕微鏡を使って植物組織を観察したり、また植DNAを取り出して目で見てみるなど、植物科学の面白さを体感しつつ遺伝子も身近に感じてもらいます。	小学生(4年生以上)、中学生	前期、夏休み	傷害保険の加入、出前の場合は理科実験室の使用(必須ではない)。
150	農学部	教授	市村和也	○	植物バイオテクノロジーの話	植物バイオテクノロジーの例として、遺伝子組換え技術や遺伝子組換え作物がどのようなものか易しく解説します。また、植物バイオテクノロジーを使った研究や応用例についても簡単に紹介します。	一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	
151	農学部	教授	市村和也	○	植物の機能とバイオテクノロジー	本講義では植物の代表的な生理機能である光合成と、生長やストレス応答と密接に関わる植物ホルモンについて概説します。次に、遺伝子組換え技術が中核となる植物バイオテクノロジーについても紹介します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	上記の植物バイオテクノロジーの話に植物に関する授業要素を加えた内容です。
152	農学部	教授	片山健至	○	森林とそのバイオマスの恵みを知ろう	森林は古来、人間の生活と文化の必需品を供給し、地域と地球の環境を保全しています。近年はバイオマスとして注目されています。森林と森林バイオマスの恵みについて話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
153	農学部	教授	片山健至	○	天然の高分子化合物と人間生活	生物及びバイオマスは、主に高分子化合物(ポリマー)からできています。また、私達は多くの物質に囲まれて、豊かな生活と文化を営んでいます。例えば、木材、紙、食品(デンプン、タンパク質)、天然ゴム、ウルシなどであり、これらの生物・バイオマス由来の天然高分子化合物について話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
154	農学部	教授	片山健至	○	讃岐三白から始めているいろいろな物質を学ぼう	讃岐三白(塩・綿・砂糖)の物質としての特徴を学び、化学に詳しくなろう。塩は無機化合物、綿と砂糖は有機化合物、そして綿は高分子化合物(繊維状)で、砂糖は低分子化合物(二糖)である。さて、米、希少糖、さらにうどん、手袋、漆器はどうであろうか。	高校生	随時可能ですが、日時などについては応相談	
155	農学部	教授	望岡亮介	○	暑さに負けないブドウの品種改良	地球温暖化により、ブドウの色づきに問題が出てきていますが、栽培ブドウの近縁種の紹介とそれを用いて品種改良した事例紹介をします。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高校(全学年)、一般成人	個別に調整	
156	農学部	准教授	鳴海貴子	○	花の咲く仕組みから形づくりまで	花はなぜ咲くのか。市場に流通している花を題材に、花の咲く仕組みから形づくりまでを説明します。	小学生、中学生、高校生、一般(青年、壮年、高年)		
157	農学部	准教授	柳田 亮	○	天然発がんプロモーターの化学	天然に存在する植物、微生物、動物由来の発がんプロモーターの構造、活性、作用機構について。			
158	農学部	教授 理事・副学長	片岡 郁雄	○	キウイフルーツの仲間と品種改良	キウイフルーツの仲間であるマタビ属植物の紹介とそれらを活用した品種改良について紹介します。	一般成人	個別に調整します	
159	農学部	教授	小川 雅廣	○	オリーブ学入門	オリーブの歴史的背景、栽培法、活用法、機能性、産業利用など * (担当者:農学部教員 数名)	一般	応相談	
160	農学部	教授	小川 雅廣	○	食品としての希少糖の魅力	希少糖の化学的性質やヒトへの作用、食品に希少糖を添加したときに起こる化学的変化や物理的変化などについて説明します。	一般	特になし	
161	農学部	准教授	亀山 宏	○	政策評価入門	市町村行政の実施するプログラムをどう評価できるか	一般	できれば定時の授業の期間以外で	H29登録 パソコンの活用やワークショップ形式で
162	農学部	教授	柳 智博	○	イチゴに関するもの	生産、科学、歴史	一般	随時	
163	農学部/瀬戸内圏研究センター	教授	一見和彦	○	瀬戸内海の生物と環境問題	瀬戸内海に生息する微細なプランクトンやアサリなどの生態について紹介すると共に、赤潮や漁獲量の減少など、瀬戸内海が抱える環境問題について解説する	高校生・一般	日程調整による	Power Pointの使用
164	農学部/瀬戸内圏研究センター	教授	多田 邦尚	○	海洋科学、瀬戸内海の環境	①「海の科学」:海水の性質や、そこに生息する生物、さらに海洋の食物連鎖や物質循環について ②「瀬戸内海の環境」:身近な瀬戸内海について、過去の高度経済成長期から現在までのその環境の変化について	小学生(5年以上)、中学生、高校生、一般市民	個別に調整	
165	国際希少糖研究教育機構(農)	准教授	森本 兼司	○	希少糖の作り方~砂糖との違い~	希少糖の1種D-プシコースは血糖値の上昇を抑える働きや肥満の予防作用がある。またそれはレアシュガースウィートにも含まれている。これらを安全に生産する方法や砂糖の違いについて解説する。	青年、壮年、高年、女性	随時可能	
166	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、危機管理先端教育研究センター長	白木 渡	○	防災、減災、危機管理に関する内容について、ご要望に応じてご相談受けします。 (担当:白木 渡、金田義行、長谷川修一、藤澤一仁、松本秀麿、野々村敦子、磯打千雅子)	南海トラフ巨大地震の地震・津波災害に対して、災害現象のメカニズムや備える対策についてわかりやすく講演・研修を行います。 キーワード:被害予測、地震・津波シミュレーション、防災計画、土砂災害、ため池災害、避難所運営、ボランティア、防災まちあるき、防災マップづくり、避難訓練	一般、企業、行政等	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先:藤澤先生 (CC: 林さん) H29登録

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
167	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、地域強靱化研究センター長、学長特別補佐	金田 義行	○					
168	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	教授	長谷川 修一	○					
169	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	地域強靱化研究センター 副センター長	藤澤 一仁	○					
170	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○					
171	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	准教授	野々村 敦子	○					
172	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特命准教授	磯打 千雅子	○					
173	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、危機管理先端教育研究センター長	白木 渡	○	想定外の災害や危機事態にいかに備えるか	想定を超える災害や危機的な状況におかれた場合の防災教育、減災・縮災(災害レジリエンス)の考え方について分かり易くお話しします。また危機管理計画(BCP/DCP)、国土強靱化地域計画策定の意義・重要性・必要性、策定方法についてお話しします。	一般、教育関係者、防災・危機管理に携わっておられる行政や企業の方	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん) H29登録
174	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、危機管理先端教育研究センター長	白木 渡	○	「災害と危機管理」、「事業継続計画(BCP)と地域継続計画(DCP)」、「災害レジリエンス」	個人、企業、地域コミュニティ、市町村の防災・危機管理対策について分かりやすく解説します。	一般	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん) H29登録
175	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、地域強靱化研究センター長、学長特別補佐	金田 義行	○	減災科学	災害前、災害時、災害後のそれぞれのステージで活躍できる人材育成とシンクタンク機能についての相談をお受けいたします。	中高生含む市民の皆さん	常時	特になし 連絡先: 林さん H29登録
176	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	地震と違って事前に備えられる風水害についてどう備えるか、情報の視点から考えます	豪雨災害は事前情報が多く、備えることで大きく被害を減らせることが出来る災害です。気候変動などにより激甚化する風水害にどう対応すればいいのか。確実な避難(行動)に結びつく情報について受講者と共に考えます。	中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します。	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん)
177	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	大震災の際に一人一人が出来ること、「自助」について考えます	自分の命は自分で守る、救助される人ではなく救助する人になるために、地震時にはどのようなことが起きるのか、偶然生き残るのではなく、確実に生き残るための「作法」について受講者と共に考えます。	小学生、中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん)
178	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	地震だ！生き残れた！その次に待っていることは・・・ 避難所運営について考えます	震災時の課題は「いかに生き残るか」。でも、生き残ったあとはどうするか。避難所に「お客様」はいません。避難所ではどのようなことが求められるのか、私たちは何をしなければいけないのか受講生と共にワークショップ形式で考えます。	小学生、中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん)

番号	部局等名	職名	氏名	生涯学習講座 (市長村等において 開講されるもの)	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
179	生涯学習教育研究センター	センター長・教授	清國 祐二	○	高齢期の学習活動・地域参加・社会貢献	豊かな高齢社会を作るために、高齢期における学習活動や地域参加は欠かせません。高齢期の学習者としての特性を理解し、地域参加の方法や具体的事例の紹介をしながら、高齢者の社会貢献について一緒に考えていきます。	高齢者 (長寿大学・高齢者学級等の受講者)	応相談	
180	男女共同参画推進室	特命講師	村上 弥生	○	女性の働き方 昔と今	女性の働き方について、民俗学で明らかにされた古代の形、歴史研究からわかった中世・近世の様子、さらに現代と将来に必要なとされる女性の役割について	女性の働き方に関心のある成人	29年度の10月以降	#NAME?